



2025
Vol.235

お互い助け合う「感謝」の気持ちと「諫早市社会福祉協議会」の意味を込めて名付けました。末永く皆さまに愛される広報紙を目指しています。



子どもたちの未来を地域で育む 第19回諫早市社会福祉大会開催

諫早市の人口が減少傾向にある中、少子高齢化や核家族化、地域のつながりの希薄化が進み、子育て家庭の孤立や子どもの貧困などが課題となっています。未来を担う子どもたちを健やかに育てるためには、地域全体での見守りや支え合いが必要です。そこで、諫早市社会福祉協議会では、1月23日（木）いいもりコミュニティ会館において、

「子どもは地域の宝～つながりを広げ、未来を育む～」をテーマに第19回諫早市社会福祉大会を開催しました。

大会では、地域福祉の推進に多年にわたり尽力された個人やボランティア団体への表彰を行い、これまでの活動を称えました。また、地域で子育て支援に取り組む2団体の活動発表を行いました。

諫早市社会福祉協議会表彰(敬称略)

ボランティア(団体) 諫早エコライフの会
ボランティア(個人) 山田 ツヨ子
民生委員・児童委員(8年以上) 大木 弘子
社会福祉団体役員又は社会福祉施設役員(10年以上)
青木 美穂子 土井 恵三

出口ボランティア表彰(敬称略)

奨励賞 芯酔会
子育て支援サポーター野と花
絵本の病院ぶっくる
特別奨励賞 ボランティアグループ たんぽぽ
うぐいす

おしらせ あなたの「かんしゃ」募集します

社協広報紙「かんしゃ」の表題の文字とイラストをお寄せください！

■応募方法：右の二次元コードから様式をダウンロードしていただき、ご記入の上、社協へ郵送してください。

採用された方にはクオカード500円分をプレゼントいたします。

今月のイラストは 園田 咲幸 さん、文字は ゆいな さん に書いていただきました。

ありがとうございます。



活動発表

「子どもは地域の宝～つながりを広げ、未来を育む～」

地域で子どもたちの健やかな成長を願って積極的な活動を実践している2団体に発表をしていただきました。

子ども食堂がつなぐ温かな地域の絆

発表者 まんぷく子ども食堂
代表 吉岡 勝行さん

少子高齢化や核家族化が進む中、孤食や子どもの貧困が社会課題となっています。そのような中、「まんぷく子ども食堂」は月2回の活動を実施。子どもから高齢者まで誰もが集い、食事を通じて交流を楽しめる温かな居場所を提供しています。

みんなが「ほっ」とするひとときを

「子どもが一人でも行くことができる無料または低額の食堂」として全国に広がりを見せた子ども食堂。最近では、子どもだけでなく、大人にとっても“ほっ”とできる居場所として注目されています。食事の提供により、孤食を防ぎ、食育を促し、さらには地域交流の場など多世代交流やまちづくりの拠点としても大きな役割を果たしています。

世代を超えた温かなつながり

「まんぷく子ども食堂」では、ひとり親家庭やひとり暮らし高齢者など様々な人が訪れ、回を重ねるごとに、自然に会話が生まれています。「最近来てなかったけど大丈夫？」と声を掛け合う場面も見られます。また、母親同士が子育ての悩みを共有したり、高齢者が子どもたちに昔の遊びを



▲発表する吉岡さん



▲子ども食堂の様子

教えたりと、世代を超えた温かな交流が広がっています。

子どもの笑顔のために！ 一力をお貸しくださいー

現在、活動を続ける上で、資金不足や食材を保管する場所の確保、さらに後継者の育成といった課題に直面しています。どのような形でも構いません。地域の皆様からご支援をいただければ幸いです。

私たちにとって、子どもの笑顔が最高のプレゼントです。「ありがとう」の言葉が原動力となっており、できる限り、活動を続けていきたいと思っています。そして、子ども食堂での出会いが、地域の絆をさらに深めるきっかけとなることを願っています。

まんぷく子ども食堂

設立	令和4年2月	時間	午後4時～6時
開催日	毎月第1・3土曜日	参加費	大人100円
場所	西諫早公民館	子ども	無料

子どもの学びを育み、地域の絆をつなぐ

発表者 諫小地区社会福祉協議会
会長 若杉 能將さん
事務局長 杉内 優仁さん

子ども会の活動を継続している町が、13町のうち1町のみとなった諫小地区。諫小地区社協では、子ども部会を新設し、子ども会の役割を担うことで、子どもの健やかな成長を促すとともに、子どもと親と地域がつながるまちを目指しています。

子どもと親と“地域”がつながる活動

① 夏休みラジオ体操

夏休み期間中、子どもから高齢者まで参加できるラジオ体操を2箇所で開催。



▲発表する若杉さん・杉内さん



▲サマーキャンプの様子

② サマーキャンプ（1泊2日）

夏休み中に自然の家にて一泊二日のテント泊を行い、沢遊びや野外炊飯など、様々な自然体験を提供。

③ 通学合宿（4泊5日）

“自立”をテーマに、子どもたちが学校に通いながら、公民館に寝泊まりし、炊事や掃除などを自分たちで行う生活体験を提供。今年度の通学合宿では、以前参加した子が高校生となり、ボランティアとして参加。
3Pに続く

子どもの成長を多世代で応援

地区社協だけではなく、地域住民を支える活動の担い手は、固定化・高齢化し、今後の担い手不足が懸念されています。

そのような中、子ども部会の活動では、参加者の保護者にもご協力いただきました。保護者の中には、カメラなど得意な人がおり、我々にはない知識や技術で、大変心強く感じました。

その他にも、民生委員や老人会など様々な団体の人たちにもご協力いただきました。

若い世代の人とも一緒に地域を良くしたい

活動を通して、若い世代の中にも、“地域”に関心を持つ人はいると感じています。今よりもさらに“地区社協”への協力者を増やしていくためには“広報”の強化が重要だと思っています。SNSなど若い世代が得意とする分野でご協力いただくと、一緒に安心して暮らせるまちを作りたいと考えています。



社会福祉大会の感想を伺いました

- ・子ども食堂の立ち上げから具体的な実践までよくわかりました。素晴らしい取り組みだと思います。
- ・高齢化が進む中、子どもたちへの取り組みや、3世代交流など、努力されている事が伝わってきました。我々も負けない様に努力することが、未来に繋がると信じて活動をしていきたいと思えます。

- ・活動発表で、皆さんの思いだけではなく明確な目標を共有し、活動されていることがわかりました。そして、楽しそうに話されていることが印象的でした。「子どもは地域の宝」というテーマは、活動における基本の理念なのかと思いました。



お知らせ



令和7年度 ボランティア活動保険の受付を開始しました！

安心してボランティアをするために

ボランティア活動中の様々な事故による傷害や賠償責任などについて補償する保険として、「ボランティア活動保険」があります。ご加入いただくには、社会福祉協議会での申請が必要です。

■問い合わせ・申込／諫早市社会福祉協議会

☎ 24-5100

※詳しい補償内容などについては…

ふくしの保険

検索



加入プラン	年間保険料
基本プラン	350円
天災・地震補償プラン	500円

補償期間

令和7年4月1日～令和8年3月31日

※年度途中の場合は、加入日の翌日から補償

参加者募集

レクリエーションができる方！サロンの支援にご協力ください！

いきいき応援隊 養成研修会 参加者 募集

いきいき応援隊とはどんな活動？

「ふれあいいきいきサロン」からの依頼に応じ、1時間程度ゲームやレクリエーションでの応援に出向き、サロンの支援をしていただくボランティアです。

事前に研修を受け、ご登録いただき、依頼に応じて活動していただきます。

※ふれあいいきいきサロンとは…地域に住む高齢者が気軽に集い、地域住民とふれあう集いの場です。

【日時】 3月14日(金) 午後1時30分～2時30分

【場所】 諫早市社会福祉会館
(諫早市新道町948番地)

【内容】 ・ふれあいいきいきサロン及びいきいき応援隊について
・サロン活動におけるレクリエーション支援について

■申込／諫早市社会福祉協議会
地域支援課 ☎24-5100



令和6年度 赤い羽根共同募金 及び 歳末たすけあい募金運動 温かいご支援・ご協力 ありがとうございます！



募金実績額（令和7年2月5日現在）

赤い羽根共同募金 17,724,513 円

歳末たすけあい募金 2,669,869 円

赤い羽根共同募金は、諫早市の福祉のため、次年度、地域の中で有効活用させていただきます。

歳末たすけあい募金は、物価高騰など

で大きな影響を受けた生活困窮者世帯への支援物資や火災見舞金などに活用させていただきました。

※募金にご協力いただいた団体、個人の名簿を本会ホームページに掲載予定ですのでご覧ください。（希望者のみ）

ボランティアのひろば

諫早市ボランティアセンターに登録している団体を紹介します。

今回ご紹介するのは、視覚障害者の情報提供に取り組んでいる「コスモス音声訳の会」です。同団体は、今年度赤い羽根共同募金を財源にした「ファーストペンギン応援事業」の助成を受けられています。また、令和6年12月には障害者の生涯学習支援活動の普及と発展のために尽力したとして、文部科学大臣表彰を受賞され、今後更なる活躍を期待されています。

❀ 諫早コスモス音声訳の会 ❀

視覚障害者の自立の手助けを図るため、地域の広報紙や選挙公報の音声訳、録音図書の製作を行っています。具体的には、広報「いさはや」、社会福祉協議会だより「かんしゃ」、「市議会だより」の音訳、街の様子や身近な話題をまとめたオリジナルの音声便り「コスモス便り」を製作し、希望者に毎月郵送しています。小説やエッセイなどの録音図書も製作し、諫早図書館に納入しています。また、リスナーとの交流会も実施。感想やご意見を参考に、より役立つ情報提供を心掛けています。これらの活動を通じて、視覚障害者の生活に寄り添い、より豊かな情報提供を目指しています。

最近では、「ファーストペンギン応援事業」の助成金を活用して新しいパソコンを購入し、録音図書の製作をより多く手掛けることができるようになり、活動の幅を広げています。これも、市民の皆さまからの温かいご支援のおかげです。

音声訳の需要はますます高まっており、特に大人になってから視覚に障害がある人にとって、音声訳は大きな情報源となっています。これからも音声訳ボランティア活動を継続し、情報取得の平等を目指して活動してまいります。

■代表	中路 美知子
■設立	昭和63年1月
■会員	34人
■活動場所	社会福祉会館
■活動日	月3～4日
■定例会	毎月10日
■会員募集	募集している



▲活動の様子



声の「かんしゃ」お届けします

視力に不安のある人へCDに録音した、声の広報紙を無料でご自宅までお届けします。

編集発行 社会福祉法人 諫早市社会福祉協議会

〒854-0045 諫早市新道町948番地
TEL 0957-24-5100 FAX 0957-24-5101
ホームページ <https://isahaya-shakyo.jp>
(諫早市社会福祉協議会で検索ください)

3月のふれあい福祉相談

日常生活における様々な心配ごと・悩みごとなど、何でもおたずねください。

一般相談	開設日	月曜日～金曜日(祝日を除く)
	開設時間	午前10時～午後3時
	場所	ふれあい福祉相談センター (諫早市社会福祉会館内) 【専用電話】23-7022

財産、権利擁護など、法律上の悩みごとなどを
おたずねください。(10日前の予約が必要)

無料専門相談	開設日	3月28日(金) 弁護士
	開設時間	午後1時30分～4時
	場所	諫早市社会福祉協議会 電話 24-5100

諫早市社会福祉協議会だより「かんしゃ」では、広報誌に関するご意見、地域で行われる福祉活動や行事の情報を皆様から募集しています。